

東北絆まつり2021山形のテーマ

絆の火を灯す。

「東北の絆と復興」山形宣言

東北地方を襲った未曾有の災害である、東日本大震災の発生から今年で10年。犠牲者の鎮魂と、復興への狼煙をあげることを目的に始まった「東北六魂祭」、「東北絆まつり」もまた、10年という大きな節目を迎えることとなりました。そして現在、私たちは新型コロナウイルスという新たな脅威に直面しています。東北だけでなく、全世界、全国の人々が感染症との戦いの日々を送っています。こうした状況にあっても、私たちは、東北の未来のために、前を向いて、できる限りの方法で、歩みを進めていかなければなりません。私たちはここに、これまで育んできた東北の絆を再確認するとともに、震災からの真の復興、そして新型コロナウイルス感染症の克服へ向けての決意を宣言いたします。

- 一 復興は、まだ道半ばです。東日本大震災の記憶を風化させることなく、未来を担う次世代に継承するとともに、力をあわせて、美しく、力強い東北を創ってまいります。
- 一 祭りは、日本人の魂であり、元気の源です。その灯を絶やさず、生きる力に転換し、東北の伝統と文化を継承・発展させてまいります。
- 一 「東北はひとつ」です。コロナ禍においてもその気持ちを忘れることなく、心ひとつにして、逆境を乗り越えてまいります。

東北絆まつり実行委員会
会長 山形市長 佐藤 孝弘